

令和2年度第1回狭山市男女共同参画審議会 議事録

開催日時：令和2年12月21日（月）午後6時00分～8時00分

開催場所：狭山市役所6階 602会議室

出席委員：山口委員、高橋委員、小島委員、宮岡委員、山谷委員、齋藤委員、笹原委員、千葉委員、金野委員

欠席委員：澁谷委員

傍聴者：0人

事務局：村井市民部長、濱田市民部次長兼市民文化課長、杉山男女共同参画センター所長、山本同主査

1 開会

2 会長挨拶

3 自己紹介

4 議題

(1) 第4次狭山市男女共同参画プランの事業実施状況報告（令和元年度） について

（事務局より資料1-1・1-2について説明）

〈質疑応答・意見〉

委員 子宮がん検診、乳がん検診の受診割合が出ているが、私などは市が行う検診では受けていない。これは、市の検診で受けている方のみだが、他にも市の検診以外で受けている方もいると思う。

事務局 会社などで検診を受けているのではないかというご意見を、以前にも委員よりいただいた。所管課の保健センターでは、検診の勧奨通知を2年おきに増やし、受診率をあげる対応としているが、会社で受診している方を把握する事ができないかの検討について、すでに伝えている。所管課の計画である「第3次健康日本21狭山市計画」でも、乳がん検診を指標にあげているので、改めて所管課に伝えたい。

委員 5頁に「市職員の課長相当職に占める女性の割合」とあるが、これは所長なども含まれるか。市役所で何人くらいいるのか。所長や館長などに、女性が増えていることをもっとアピールできると良い。

事務局 課長相当職は、課長職以上のため主幹職である所長は含まれていない。手元に資料がないが、現在は次長が2人、課長でも6～7人くらいなので、10人程度である。統計によっては、課長補佐の位置づけである主幹職を、管理職として含めるものもあり、主幹職を入れれば、もっと女性の数は多い。成果目標の基準となるものを、検討していく必要があるのではないかと考えている。

委員 市でも、女性職員の管理職が増えてきている状況を、市内の企業にもっとアピールして、率先して示していけると良い。

(2) 令和元年度男女共同参画センター事業報告について
(事務局より資料2-1・2-2について説明)

〈質疑応答・意見〉

委員 DV防止出前講座は、全ての中学校でやると良いと思う。

事務局 令和元年度は初めての事業でもあり、とりあえず年間に3校までとし、希望を募ったが、実施希望があったのは2校だった。年度初めに、校長会で周知したが、2学期に行事が多いこともあり、学校でも年間予定に入れるのはなかなか難しいようである。

人権意識を高めるためにも、各中学校を対象に継続して行っていきたいと考えているが、今年度はコロナ禍で学校現場に余裕がないため、予定していない。コロナの収束の状況を見て、続けていきたい。

委員 録画したものをオンラインで流すなどでも良いのではないかと。学校側も受け入れやすいかもしれない。

委員 講師を呼んで行うのでなくても、学校の先生で出来ないだろうか。

事務局 学校の先生が人権教育の一環などで行えるのであればそれも良いが、先生方も多忙なため講座の準備・資料づくりも難しいと思うので、生徒たちを集め、場所の提供だけをしてもらい、講師等は派遣するかたちを取っている。集まるかたちでなく、冊子配布や、子どもたちに配布されるタブレットを使用して、オンラインで出来ないかの検討はしていく必要があると思っている。

会長 ゲーム形式で行うのも良いと思う。楽しみながら学習できると、学生の皆さんには受け入れやすいのではないかと考えた。家政大などでもデートDVのほか、警察の方を呼んで痴漢撃退法を学んだりした。

委員 教育と付けば、全て学校にまわってくるが、今までにないカリキュラムを作らないといけないため、学校側も大変である。しかし、「子ども達に、今、やらなければいけない事」というものがある。少なくとも、中学校までに「人としてやってはいけないこと」を教える必要がある。まさに男女共同参画などの意識改革はとても重要。専門的な知識を持つ方にやってもらう方が、効果があると思う。学校長に「こういう事ができる」とプレゼンテーションして示し、1年間かけて、活用のしかたを検討してもらい、次の年から始めると良い。

委員 DVはかなり相談件数が増えているが、相談を受けたあとにその先ほどの支援へ繋がって、どうなっているか知りたい。それぞれの所管課でないと分からないと思うので、すぐには答えられないと思うが、相談件数だけで見ると減ってはいかないと思う。フードバンクでも、ただ食料を提供するだけでなく、相談先を教えている。2度目の利用からは、その相談機関を通じてでないと支援しないこ

ととしている。

- 事務局 市でも縦割りの相談ではなく、ワンストップの相談に向けての検討を今、始めている。男女共同参画センターがそこにどう関わっていくかも含め、横断的に対応することや、相談が増えた・減っただけでなく、相談のその先をどうしていくか新たな解決策を探っていきたいと思う。
- 委員 学校の子どもの相談でも、今は子ども支援課や児童相談所も含めて、協議したりしている。相談件数の数だけでなく、中身・結果を補足して示してもらえると有難い。
- 委員 相談件数が増えているということには、相談機関に繋がっている・相談先を知っている人が増えているという側面もあるのではないかとも思う。また、市での相談がどこに繋がって、どう対応してくれるのかが見えると、もっと安心して相談できるのではないかと思う。

(3) 第5次狭山市男女共同参画プランに係る市民意識調査について
(事務局より資料3について説明)

〈質疑応答・意見〉

- 委員 18歳以上の2000人を対象に抽出しているが、10代、20代などの割り振りはどのようになっているか。
- 事務局 10代は18歳と19歳だけのため、抽出数は他の年代より少ない。
他の年代は、ほぼ同数で抽出したが、人口の構成比を勘案し、結婚・育児などのライフステージの変化もある30代から40代は少し多めに抽出している。
- 委員 男女共同参画センターの認知度が低いが、増やすためにはどうしたらいいかを考えた。やはり、中学校での講座や映画会など、「男女共同参画」という言葉を垂れ幕で目にするなど、これからを担う子どもたちの目に触れる機会を増やすことが大切なのではないか。
私も審議会委員になってニュースなども「男女共同参画」の話題が出ると気にとめるようになったが、この言葉を知らない人と素通りしてしまうと思う。
- 委員 男女共同参画という言葉がわかりにくいのでは。今の子どもたちは、私たちの世代より、自然に男女共同参画を受け入れていると思う。
女と男(ひととひと)という言葉のように、性のことだけではなく、色々なことを含んでいるということがわからないのでは。
- 委員 (男女共同参画の)文字だけを見ると固い。子どもたちに、自分が普段やっていることと変わらないことを分からせるにはどうしたら良いか、が難しい。

委員 学校でも、お知らせを配布しても、保護者でも読まない人がいる。興味を持ってもらうのは大変である。

委員 発信の仕方だと思う。この調査報告の速報版も、白黒の網掛けでわかりづらい。例えば市のホームページに載せるときに、カラーにして pdf にするなども良いと思う。市でも Facebook があるが、若い世代は SNS の知識はすごい。現状あるものを活用しながら、やわらかい内容でアピールできると良い。

(4) 第5次狭山市男女共同参画プランの策定について
(事務局より資料4について説明)

〈質疑応答・意見〉

委員 基本理念の案が出ているが、本日の会議ですぐに意見を出すのは難しいと思う。いつまでに検討すれば良いか、今後どのようなスケジュールになるか。

事務局 今回は、資料を確認いただくかたちとし、できれば次の審議会を令和3年2月上旬に開催したいと考えているので、次回にご意見をいただきたいと考えている。

5 その他

事務局 先ほどもお伝えしたとおり、令和3年2月上旬に次回の審議会を開催したいと考えている。次の審議会では、調査報告書(案)について、委員の皆さまに確認していただき、ご意見をお願いしたいと思う。また、今回の議題(4)基本理念の案についてのご意見をいただきたいと考えている。

以上

6 閉会